

# 畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

2022. 4. 1



## 目次

|                     |                    |    |       |   |
|---------------------|--------------------|----|-------|---|
| 新入生諸君へ<br>課程・別科紹介   | 学                  | 長  | 長澤秀行  | 1 |
|                     | 共同獣医学課程            | 教授 | 小川晴子  | 2 |
|                     | 畜産科学課程             | 教授 | 仙北谷廉  | 3 |
|                     | 別科                 | 教授 | 西田武弘  | 4 |
| 在来生所感               | 共同獣医学課程            | 2年 | 小林建太  | 5 |
|                     | 畜産科学課程             | 2年 | 玉田晴生  | 5 |
|                     | 畜産科学課程             | 2年 | 山内みこと | 6 |
|                     | 別科                 | 2年 | 加納知歩  | 6 |
| 入試・教務課から<br>学生支援課から | 学位記並びに修了証書授与式が行われる |    |       | 7 |
|                     | 飲酒について             |    |       | 8 |
|                     | SNS利用にあたって         |    |       | 8 |
|                     | 悪徳商法にご注意!          |    |       | 8 |
|                     | 交通事故防止             |    |       | 9 |



## 「入学おめでとう」

学長  
長 澤 秀 行

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今、皆さんは、これから始まる大学生活への期待で一杯のことでしょう。皆さんは、一人ひとり違った能力を持って生まれ、これまで、異なる環境で育ち、今ここに、進む道と同じくした仲間たちとともにいます。これから本学キャンパスで、社会的な存在として切磋琢磨することになります。教育機関としての大学には、入学された皆さんが、それぞれ各人の優れた能力を伸ばし、バランスのとれたグローバル人材として成長するのを助けるという社会的統合の役割があります。

十勝平野に位置する本学の西には日高山脈、北には大雪山系があり、それらの裾野は十勝川に沿って太平洋沿岸まで南へ広がっています。地平線を望むことのできる広大な十勝平野と太平洋沿岸の豊かな漁場を有するこの雄大な自然環境は、北海道の中でも特に素晴らしいものです。同時に、この自然環境と大陸的な気候は、十勝の基幹産業である畜産、酪農、畑作にも大きく寄与すると同時に、本学の教育研究を進める上で、大きな強みとなっています。

日本の食料生産の中心地として、「生産から消費まで」一貫した環境が揃う十勝に位置する本学は、生命、食料、環境をテーマに、農学、畜産科学、獣医学に関する教育研究を推進する、我が国唯一の国立単科大学です。本学のミッションは、「知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、『食を支え、暮らしを守る』人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献すること。」です。

国立大学は、国立学校設置法に基づいて国が設置する文部科学省の施設・機関でしたが、2004年4月以降は「国立大学法人」が設置する大学へと移行し

ました。法人化により、予算・組織面での規制が緩和され、各大学は自主的・自律的に大学運営を行なうようになりましたが、大学は文部科学省へ6年ごとに中期目標と中期計画を提出して認可を受け、その達成度は同省内に設置された国立大学法人評価委員会に評価されることになりました。本学は、次世代をけん引する有為な人材を育成し、研究を通じた知の創造によって、社会課題の解決に寄与しており、教育、研究、業務運営、財務内容等に関して高く評価されています。しかし、法人化当初に描いた「競争的環境の中で、活力に富み、個性豊かな魅力ある国立大学」の姿には未だ途上にあります。

本年4月に発足する、帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学の3大学経営統合による国立大学法人北海道国立大学機構は、北海道経済・産業の発展と国際社会の繁栄並びに、SDGsに示された持続可能な社会の実現に貢献するために、北海道内国立大学の教育研究機能を強化し、国民の要請に応えるとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準向上を図るのが目標です。本機構は農学、商学、工学を担う国立大学の結束と産学官金の強力な連携により「実学の知の拠点」を形成し、ステークホルダーの期待に応じて社会の発展に貢献することを使命にしています。

4月からスタートする第4期中期目標期間は、本学にとってポスト・コロナを見据えた大きな転換期にあります。新しい学びあいのコミュニティは、大学の内外に存在しています。新入生の皆さんが、労苦を惜しまず、情報を収集し、貪欲に知識・技術を吸収し、積極的に課外活動にも参加して有意義な学生生活をお送りできることを祈念します。

## 課程紹介



教授  
小川 晴子

## 共同獣医学 課程

帯広畜産大学共同獣医学課程の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんのご入学を心から歓迎いたします。2019年12月に新型コロナウイルスが出現し、2020年3月にはWHOがCOVID-19パンデミックを宣言しました。その後2年が経過する中でワクチンや治療薬が開発され、少しずつ以前の生活を取り戻しつつありますが、いまだ完全な収束には至っていません。みなさんの高校生活の多くはパンデミックの中にあり、受験勉強に様々な影響があったこととお察しします。そんな中、努力実って難関を突破されたみなさんは大きな喜びに包まれているものと思います。大学生活への期待に胸を膨らませている今の気持ちを大切に、獣医学を修めて獣医師を志す学生として充実した大学生活を送っていただきたいと思います。

帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程は獣医学教育の欧州基準認証の取得をめざしてきましたが、2019年12月に欧州獣医学教育機関協会による認証を取得することができました。今後も、国際的・社会的にリーダーとして活躍する獣医師の養成を目指し、我が国の獣医学教育水準の向上に取り組んでいきます。

みなさんは本学の教員だけでなく、北海道大学の教員による獣医学関連の専門科目の授業を受講することになります。本学は“日本の食糧供給基地”である北海道十勝という恵まれた自然環境に囲まれている上、産業動物施設、食肉検査施設、毒性、微生物および病理に関する検査・診断施設を含む多くの最先端設備を備えています。特に産業動物獣医療や衛生学分野に関しては国内でも特色のある教育を提供しています。一方、北海道大学からは人獣共通感染症や伴侶動物獣医療分野などに関する獣医学教育が提供されます。専門教育においては教員間の相互乗り入れだけでなく、両大学の学生が一同に会して

開講される演習や実習もありますので、情報交換や親睦を深める機会にさせていただきたいと思います。

共同獣医学課程における1年生の授業は教養科目が中心となりますが、獣医学を学ぶにあたって必要不可欠な基礎知識や教養を習得し、広い視野で獣医学を学ぶ必要性について獣医学導入科目で学習します。本学の特色ある授業のひとつである農畜産演習では“様々な生き物のいのちをいただきながら私たちは生きている”ことを知る機会を得ることでしょう。2年生から始まる本格的な獣医学専門教育では、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の各分野の講義や実習により体系的に学ぶこととなります。獣医学にとって非常に重要な畜産関連分野についても学びます。各分野の専門科目数は多く、各科目の単位取得においては多くの知識量を求められます。2年生、4年生、5年生への進級時には、教養科目および獣医学専門科目の必要単位数を修得しなければ進級できないシステムになっています。また、5年生から始まる参加型臨床実習、いわゆる“ポリクリ”の受講条件として、共用試験に合格する必要があります。さらに、専門科目の仕上げとして、研究室に配属し指導教員とともに特定の課題研究に取り組み、その成果をまとめあげることになります。これら全てをクリアした学生さんのみが獣医師国家試験の受験資格を得ることになりますので、十分心して学業に励んでください。

共同獣医学課程は今年で11年目を迎えます。11期生としてお迎えしたみなさんには、現在進行中の新カリキュラムによる教育を受けていただきます。みなさんが卒業する時に“帯広畜産大学で学生生活を送って本当に良かった”と思っていただけるように、教員も全力で努力していきます。一緒にがんばっていきましょう。

## 課程紹介



教授  
仙北谷 廉



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの帯広畜産大学での学びが、将来、社会で活躍する皆さんにとって実り多いものになることを願っております。

さてここではまず、皆さんがこれから学び、生活することになる十勝の紹介からはじめたいと思います。

十勝内陸部の開拓は、明治16年の依田勉三率いる晩成舎の入植が始まりとされています。晩成舎は出資を募って組織された民間企業でした。北海道の多くの地域の開拓は明治政府による官営の事業でしたが、十勝は民間企業が開拓を始めた数少ない事例のひとつです。

晩成舎の27人が居を構えた今の帯広市東10条南5丁目付近は、当時はアイヌの住居があるだけで、ほかに道路もない文字通り原野だったようです。開墾は遅々として進まず、食糧が尽きて野草と川魚で飢えをしのぐようになり、蚊・ブヨに襲われ猛暑もあって、ともに入植した数人が無断で姿を消します。成長しはじめた作物はイナゴの害で壊滅し、さらに疫病がまん延します。

しばらくたって打開策を牧場経営にもとめ、ハムを函館などで販売しようとするのですが運搬途中で腐ってしまいます。そのあとも洪水や火災があり、勉三は失意のうちに没し晩成舎も解散します。

晩成舎の事業はことごとく失敗したといわれています。しかし晩成舎が手がけた畑作、酪農、食肉加工、バター・れん乳製造、さらに稲作は、後に十勝開拓にあたった人たちに受け継がれ、しっかり根を下ろし十勝の経済発展を支えます。

晩成舎が残したのは、そうした十勝開拓の指針・技術的可能性と共に、困難に立ちむかう挑戦者意識、開拓者精神、進取の気質であったともいわれています。それは現在でも十勝の農業者のみならず、企業

経営者・経済人の姿勢とも重なります。なぜなら、十勝開拓の歴史は100年ちょっとです。十勝発祥で現在も活躍する企業は、十勝開拓の歴史とともに歩んできました。もちろん戦後もしくは近年、このような歴史を持つ十勝に参入した農業者・経済人の「開拓者」精神は、先駆者に勝るとも劣るものではありません。皆さんがこれから学ぶ十勝はこのような土地です。

さて、では十勝で教育研究を行う帯広畜産大学はどうでしょうか。皆さんは「よい教育研究機関」とはどんなところだと思うのでしょうか。

もちろん、よい教育環境・設備、十分な研究費を持つことは重要です。この点で帯広畜産大学は条件を満たしていると言えます。しかしそれだけでは十分ではないでしょう。これを使って教育をする教員、研究者がいなければなりません。つまりよい教育研究機関とは、よい教育者、よい研究者がいるところだと思います。この点で帯広畜産大学には、進取の精神と、柔軟な発想をもち、さらには地道な努力をいとわない教員がたくさんいます。

なぜでしょうか。それは十勝の農業者と協力しながら、また十勝の経済人と意見を交わしながら研究を進め、時に学生の教育にも支援をもとめるなど、「開拓者」精神にあふれた人たちと密な交流を持っているからかもしれません。これは畜産科学課程も、共同獣医学課程も同じです。皆さんは帯広畜産大学で学ぶなかで、これらのことを感じていくことになると思います。

畜産科学課程の紹介原稿を依頼されたのですが、残念ながら十分説明する前に紙幅が足りなくなりました。わからないことは教務課、学生支援課におたずねください。これからの皆さんのご健闘をお祈りしております。

## 別科紹介



教授  
西田 武 弘



別科新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。別科主任を務めます西田武弘です。よろしくお願いたします。今、皆さんは大学での新しい勉学、活動に向けて、少しの不安を抱きながら緊張気味かもしれませんが、ぜひ、帯広畜産大学での活動に期待を抱き学生生活をスタートしてもらいたいと思います。

まず、別科の生い立ちから紹介します。昭和16年（1941）に帯広畜産大学の母体となった帯広高等獣医学校が創立され、本学別科はその19年後の昭和35年（1960年）4月1日に別科（草地畜産専修）として産声をあげました。つまり、皆さんが入学する令和4年（2022年）は創設から63年目となります。これまでの約60年間に1200人以上の皆さんの先輩が巣立っています。このように、歴史ある別科ですが、一昨年度より、別科・酪農専修として生まれ変わりました。

新しい別科・酪農専修では、現在の我が国の酪農産業の多様性、つまり、高効率大規模経営化、搾乳ロボットなどの先進技術の普及、放牧酪農や有機酪農などの特色ある飼養形態、加工・販売まで手掛ける6次産業化や観光農場及び酪農教育ファームなどに対応できる人材を育成することを目的として、【酪農に関わる基本的知識と技能を備え、食と農の大切さを基礎として「農場から食卓まで」の幅広い視点で酪農に適応できる知識と実践力を有し、国際的視野で地域の酪農を担い、日本の酪農産業をリードできる人材を育成する。】を教育目標に掲げています。この目標に基づいて、本学学部教員から構成される教員スタッフが、基礎学術科目と専門教育科目を担当しています。基礎科目として、生物、物理、化学などの自然科学や人文科学、英語などを学びます。

専門科目では、畜産学、草地学、農業機械学、農業経営学等に関する講義や実習が準備されています。履修する際には、基礎科目と専門科目ともに必修科目と選択科目を含んでいますので、それぞれの修了要件単位数に十分注意してください。配布された履修要覧を良く理解するとともに、分からないところは別科担任の和田先生やクラス担任の森先生に積極的に質問してください。

別科・酪農専修での特色ある科目の一つとして、「農場実習」があります。「農場実習」では、多様な酪農技術を連携させた教育プログラムを通して、牛群管理～酪農経営のスキルを身につけます。1年を通して季節ごとに異なる酪農技術（牛群管理、圃場管理）と酪農経営（営農計画、生産管理、予算／決算）の実務について、少人数グループでのローテーションにより、体験的に習得していきます。この実習を通じて、卒業時には、酪農現場にて活躍できる能力を身につけてもらいたいと考えています。今、日本を含む世界各国で、新型コロナウイルスによる感染あるいは感染予防のための様々な活動制限が続いています。皆さんも、思いもよらぬ制約の中での高校生活などを過ごしてきたと思います。大学での教育も、いまだ多くの制約を受けている部分があります。でも、安心してください。別科教育においては、フィールドでの実習が多いこと、学生数が少なく密を回避できることなどから、他の学科に比べ、対面での授業・実習を実践できています。存分に学んでもらえる状況にあります。

最後となりますが、皆さんの大学生活を充実させるために、何よりも大切なのは、健康であること、そして、何事にも積極的に取り組むことだと思います。それでは、皆さん、元気よくいきましょう。

## 在来生所感



共同獣医学課程 2年  
小林 建太

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスにより学生生活や受験など、さまざまな場面で苦労されてきたと思います。そのような状況でも頑張りぬいた皆さんを心から尊敬します。ここでは、私の一年間の経験から皆さんに少し述べさせていただきますと思います。

昨年は一昨年と比較するとストレスの少ない環境になったと思いますが、正直まだまだ厳しい状況です。オンラインだった授業は対面とオンラインのハイブリッド形式で行い、実施できなかった実験や実習は規模縮小のもとで実施されるなど徐々に改善はしていますが、かつての大学生活にはまだほど遠い

です。しかし、コロナ禍でも受験をやり切った皆さんには大学でも楽しむ力が備わっていると私は信じています。外出が制限される今だからこそ、新入生の皆さんには困難に屈さず積極的に行動して欲しいです。

入学前後は不安なこともたくさんあると思いますが、そんな時は是非、先輩たちを頼ってみてください。部活動やサークルは活動自粛となることがあると思いますが、そんな中でもTwitterなどSNSを通じて情報を発信している人たちがたくさんいます。分からないことがあるときは質問や相談をしてみるのもいいかもしれません。そうやって苦楽を共にした先輩や同級生が一生物の関係になるかと思います。卒業後、社会人になってから「あの頃はたいへんだったなあ。」と笑いあえる仲間がきっと見つかるはずですよ。

当初思い描いていたものとは異なるとは思いますが、皆さんが充実した大学生活を送れるよう願っています。



畜産科学課程 2年  
玉田 晴生

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。受験勉強お疲れ様でした。大変だった受験生活を乗り越えて、畜大での新しい生活がいよいよ始まります。長らく生活していた地元を離れ、慣れない環境での生活や人間関係をまた一から作っていくことに期待もあると思いますが、不安が大きいと思います。安心してください。周りには、同じ思いの新入生やその思いを知っている上級生がたくさんいます。多くの方が助けてくれると思います。

大学生活を送っていく中で、大切にしてほしいのが、友達や先輩との仲間関係です。友達は、日常生活や授業を乗り越えていくうえで最も頼り、頼られ

る存在となっていきます。先輩は、授業の情報を教えてくれたり、バイトの紹介をしてくれたり、大学生活においていろいろな場面で助けてくれます。畜大には、優しくてフレンドリーな先輩が多いです。どんどん頼りましょう。

そんな友達や先輩と出会うのに、重要となってくるのが新歓です。4、5月は各部活、サークルが新入生を歓迎するために、新歓を行います。多くの新入生が参加するので、友達を作るチャンスの一つです。先輩との関係を築くきっかけにもなります。それぞれの部活やサークルの活動が体験できるものもありますが、座談会や履修相談会、新歓ドライブといった先輩方と話す機会が多い会もあります。ここで、新生活や授業選びのことなどを相談できます。新歓を通して、多くの人と出会い、新生活の不安を払拭できると思うので、できるだけ多くの新歓に参加することをお勧めします。

新入生の皆さんが有意義な学生生活を送ることを心より願うとともに、皆さんと出会うことを楽しみに思っております。



畜産科学課程 2年  
山内みこと

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験が終わり、皆さんが待ち望んでいた大学生活がこれから始まります。新しい生活に不安な気持ちもあるとは思いますが、何よりも4年間の大学生活をめいっぱい楽しんでください。皆さんにはこの1年間で得た私の経験を踏まえてお話しします。

皆さんが講義を受ける時はどのような授業形態になるかわかりませんが、私たちは隔週対面とオンラインで人数を半分に分けて講義を受けていました。オンライン授業で友達ができないという噂を聞いたことのある人も多いと思いますが、コロナの感染状況が現在より酷くならない限り対面の授業が必ず行われるので友達作りで心配することはありません。

もし、対面の講義がなくてもSNSなどを通して友達を作ることができるので安心してください。そして、私は皆さんに講義だけでなく、この大学特有の部活動やサークル活動を楽しんでいただきたいです。例えば、馬や牛と深く関わることのできる部活、ウィンタースポーツの部活、北海道に生息する生き物の生態を調査するサークルなど数多くの部活があります。多くの部活はSNSで部活動紹介や募集期間を発信しており、パンフレットに記載されている内容よりも詳しい情報が得られるので興味のある部活の投稿は確認してみてください。体験会や仮入部など各部活動で色々なイベントを開催しているので是非ご参加ください。特殊な部活動も多いので貴重な体験になります。また、特有の部活動やサークル以外でも友達や先輩方との楽しい思い出が沢山できるので部活動やサークルには入ることを強くお勧めします。

それでは、皆さんそれぞれの素敵な大学生ライフをお過ごしください。



別科 2年  
加納 知歩

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

まずは入学までにたくさんの苦勞を乗り越え、頑張ってきた自分を褒めてあげてください。新しく始まる生活に不安を抱えている人も多いと思います。そこで、この一年の私の経験などについて少し紹介させていただきます。

私の所属する別科では畜産フィールド科学センターでの実習が多く行われます。座学では日本の酪農の現状や牛の生態、農業機械などについて学ぶことができます。大学では初めてのことが多く不安でし

たが、先生や先輩方から一から丁寧な説明がありました。なので、実家が農家か非農家かで差を感じる必要はないと思います。最初から完璧に物事をこなせる人はいません。失敗を恐れずチャレンジすることで、今、そこでしかできない体験ができます。少し勇気のいる事ではありますが、是非チャレンジ精神を持っているなことを体験してみてください。

新しい生活が始まって不安になったり、緊張する場面も多いと思います。そのような時こそ自分の心身の不調に気付きにくくなってしまいます。なので、まずは生活に慣れる事、自分自身をいたわる事を心掛けてください。一人で抱え込まず、いろんな人に相談することも忘れないでください。程よく肩の力を抜いて、楽しむことも大切です。

長くなりましたが、これからの皆さんの大学生活が楽しく、充実したものになる事を願っています。大変なこともあるかもしれませんが、一緒に頑張らしましょう！

# 学位記並びに 修了証書授与式が行われる



去る3月18日（金）午前10時から本学講堂において、新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、令和3年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。講堂での様子は、大講義室に中継され、本学ホームページでも公開されました。

挙行に先立ち、逍遙歌が流れ、奥田 潔学長から共同獣医学課程、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。

また、例年式典では学長より各ユニットにおける学業成績優秀者の表彰も行われていましたが、今年は大学から手交により学業成績優秀者へ賞状の授与及び記念品の贈呈を行いました。

本年度は、学部257名、別科（酪農専修）8名、大学院各専攻合わせて49名の合計314名が、畜大での思い出を胸に巣立っていきました。



## ☆ 飲酒について ☆

本学では未成年者の飲酒は、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要等を含めて、いかなる場合であっても禁止し、また、退学や停学の処分を行う場合もあります。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた、断れず仕方なく飲んでしまった等の事実があった場合は、学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のことに留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない

## ☆ SNS利用にあたって ☆

SNS (Facebook, Twitter, LINE 等) を頻繁に利用している方も多いかと思いますが、SNS 利用に関するトラブルが近年増加しています。

自身で情報を発信する際は、

- ・他人のプライバシーを侵害していないか  
(他人の写真や情報を載せる等)
- ・自身のプライバシー設定は適切か  
(自分の意図しない範囲まで情報が広まる等)
- ・迷惑行為をしていないか  
(誹謗中傷や不適切な発言や写真、動画の投稿等)
- ・秘密にすべき内容を載せていないか  
(アルバイト先等の内部情報等)

など、トラブルを引き起こすまたはトラブルに巻き込まれる可能性はないかを一度考えてから投稿するなど注意が必要です。

SNS は、自身の身近な人だけでなく、日本中、世界中の人に情報を発信していることを忘れずに良識をもって利用してください。

## ☆ 悪徳商法にご注意! ☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った(と思われる)場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

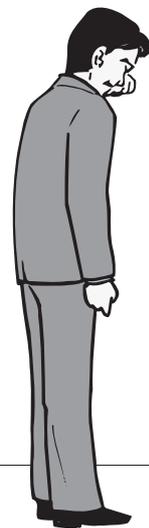
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求 (パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する)
- 無料商法 (無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる)
- サクラサイト商法 (サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになりすまし、メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する)
- デート商法 (間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます)
- マルチ商法 (加盟者が新規加盟者を誘い、その加盟者が別の加入者を誘うという連鎖により組織を拡大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い)
- キャッチセールス (繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる)
- アポイントメントセールス (抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る)

# 交通事故防止

## 加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑，罰金）
3. 行政処分 例（免許取消，免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲戒処分 例（退学，無期停学，停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



## 被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い，経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が，毎日夢に出てくる
6. 怒り



## 大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については，交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として，一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には，徒歩，自転車，或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では，学生と思われる無断駐車が多数見受けられ，歩行者の通行を阻害する等，荷物の搬入，緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は本学が開催する「交通安全講習会」

を受講の上，Webで駐車場使用許可申請を行い，「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また，マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても，本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として，良識ある行動を取るよう，切望します。